

職場環境改善の取り組みについて

岡山放送株式会社
代表取締役社長
中静 敬一郎

令和3年7月6日、当社社員が長時間にわたる業務によって過度な疲労や心理的負荷が蓄積していたにも関わらず、当社が業務量の負荷軽減等、適切な措置が取られていなかったことに起因して、自死するという痛ましい事案が発生しました。また、当該社員に対し上司からパワーハラスメントと認められる行為も確認されました。大切な社員の尊い命が失われた事実を重く受け止め、このような痛ましい事案を再び起こさないよう、以下のように適切な勤怠管理の構築と徹底、適正な業務量の検証に加えて、社内にOHK、OHKエンタープライズ働き方改革プロジェクトを立ち上げ、外部相談窓口の設置やパワーハラスメントを含むコンプライアンス研修に加えて、若手社員メンバーからの提案などにより、以下のように職場環境の改善に取り組んでおります。

<再発防止に向けた取り組み>

① 時間外労働について

各部門において業務量の見直しを図ると同時に人員配置のバランス化を図るなどして全社の時間外労働の抑制に取り組んでいます。また、法定労働時間を超える時間外労働が月45時間以上となった従業員に対しては、産業医による面接を推奨しております。また、より細かく勤務時間を記録できるよう勤務管理システムを改修しています。これに加えて、OHKエンタープライズでは時間外労働が30時間を超えた時点で月45時間を超える見通しの場合は、事前に従業員代表の承認が必要となる仕組みを作り、時間外労働が多くなっている従業員の把握及びケアに努めております。

② 第三者による相談窓口の設置

公益通報者保護規定に基づいて相談窓口を設置していましたが、窓口が社内部署であるが故の相談しづらい状況を改良するため、外部の通報窓口専門会社と契約し、両社で今年5月から運用を開始しています。仕事や職場環境にまつわる悩みは、上司に相談して解決していくことが本来の姿ですが、何らかの理由で上司に相談ができない場合は、第三者窓口を通じて相談することができるようにしました。

③ ハラスメント研修

本年4月に岡山放送及びOHKエンタープライズの全役員、従業員に対してコンプライアンス研修を行いました。今後も毎年1回の研修を継続していくとともに、就業規則におけるハラスメントに対する罰則強化も行いました。

OHK岡山放送及びOHKエンタープライズは、二度とこうした痛ましい事案が起こらないよう、上記の再発防止に向けた取り組みを続行、強化いたします。同時に社会から信頼され、社会的使命を果たしていくために、コンプライアンス違反を絶対に許さない企業風土を構築いたします。一人ひとりが安心して生き活きと働ける職場環境を責任と覚悟をもって実現いたします。

以上

【本件に関してのお問合せ】

岡山放送株式会社 総合企画局

電話:086-941-8881